

第 21 回 HAB 研究機構学術年会

研究開発生産性を向上する創薬戦略と革新的技術の進展

学術年会長：森脇 俊哉（武田薬品工業株）

日時：2014 年 5 月 16 日（金）・17 日（土） 会場：昭和大学 上條講堂

お問い合わせ・お申込み先：特定非営利活動法人 HAB 研究機構

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4F

TEL/FAX 03-3815-1909 E-mail secretariat@hab.or.jp

最新情報はホームページにて(<http://www.hab.or.jp>)随時、公開しております。

招待講演 I 「オープンイノベーション」

オープンイノベーションを通じた新薬開発と将来展望 藤本 利夫（日本イーライリリー株）

招待講演 II 「臨床試験効率化」

創薬生産性向上を目指した臨床試験の現状と課題 川上 浩司（京都大学大学院）

招待講演 III 「トランスレーショナルサイエンス」

創薬におけるトランスレーショナル研究の現状と課題 豊柴 博義（武田薬品工業株）

招待講演 IV 「ドラッグリポジショニング研究」

Drug Repositioning とアンメットメディカルニーズ 塩村 仁（ノーベルファーマ株）

招待講演 V 「コンパニオン診断薬の開発」

個別化医療における診断薬の役割と診断薬に関する厚生労働省通達のインパクト

小崎 丈太郎（株日経 BP）

シンポジウム I 「細胞、組織培養技術の発展と実用化」

横田 耕一（東洋合成工業株）、安田 哲（第一三共株）、青山 和誠（武田薬品工業株）、山田 泰弘（田辺三菱製薬株）

シンポジウム II 「iPS 細胞技術の発展と創薬・治療への応用」

宮本 憲優（エーザイ株）、小島 肇（国立衛研）、関野 祐子（国立衛研）、高橋 淳（京都大学 iPS 細胞研究所）

シンポジウム III 「バイオマーカーを用いた新薬開発の加速化」

野地 博行（東京大学大学院）、藤枝 裕介（アスピオファーマ株）、宮野 悟（東京大学医科学研究所）

第 24 回市民公開シンポジウム

予防接種の大切さ ―日本の未来である子供を守る予防接種の正しい理解のために―

ランチョンプリゼンテーション：年会 1 日目昼食時には、細胞アッセイ研究会会員など約 20 名からポスター発表をしていただきます。